

令和7年度都立田無高校における教科指導の重点（2学年）

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「読むこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実	・教科書のみならず多種多様な文章に触れる機会を設け、言語に対する興味関心を抱かせる指導。 ・言語活動を通じて「伝え合う力」を育む指導。	・定期的な小テストの設定と学年行事とのタイアップ
地理歴史	明るい未来を作り上げるための知識と理解力を育てる	現代の社会における問題点との関わりを意識した授業を展開する	プリントや視聴覚教材などを利用しながら、想像力を働かせるように工夫する。
公民	主権者としての資質・能力の育成	①主体的に考察する授業展開 ②他者との対話から深めていく実践	①具体的な事例を用いた教材の開発 ②知識構成型ジグソー法による他者との協力と深める取り組み
数学	基本的な知識と技能の習熟を図り、数学的に考察し表現する能力を養う	①数学Ⅱにおいては習熟度別授業を行い、一人ひとりへの指導の充実を図る ②スモールステップで、分かりやすい授業を心がける	①問題集・プリントを用いて、様々な発展的な問題にも取り組む ②数学的な考察ができるよう他者との教え合い活動を行う。
理科	自然との関わりを重視した授業展開をおこなう。	自然との関わりを重視した授業展開を実施する。	科学館や科学イベント等の情報を可能な限り授業内で共有し、興味関心を高めるきっかけとする。
体育	自己の可能性を広げることのできる、「挑戦する心」を育てる。	考えて工夫して取り組むことで、できなかったことができるようになる喜びを積み重ね、自己肯定感を高めるように取り組ませる。	・水泳(夏季)、持久走(冬季)、トレーニング(通年)において、苦手なことから逃げない取り組み。 ・3年間で様々な実技を身に付け、生涯運動に親しむ素養を身に付ける。
英語	・4技能に必要な基礎基本を定着させる。 ・文法の基礎基本を定着させ、英語で豊かに表現できる力を育む。	①JETの授業を通して話すことに慣れさせる。 ②英語での自己表現を通して様々な考えを深めさせる。 ③主体的に考察する授業を展開する。 ④Z会のwritingを通して様々な考えを深めさせる。	・リテリングを定期的実施したり、パワーポイントを使ってプレゼンテーションをしたりする。 ・様々なトピックに対して英語で意見を伝え合う。
家庭科	家族や社会との関わりの中でよりよい生活を創造する実践力を育てる。	料理や裁縫など、日常生活に必要な技能を実習時間を適切に確保することで身につけさせる。	教養家庭基礎において栄養や衛生に関する知識を学び、健康的な生活を送るための基礎を築く。
総合的な探究の時間	実社会や実生活と自己との関わりから、自ら問いを見だし、自分で課題を立てる。	情報を集め、他者と協力し、試行錯誤し、整理・分析して、まとめ・表現する。前半では外部機関を活用し、与えられた探究課題に取り組み、後半では地域探究に取り組む。	修学旅行で訪れる長崎の地域探究も実施し、地域による違いについて検証する。